

受領No.1493

## 膨大な位置情報付きツイートから地域課題は見つかるか?

代表研究者 倉田 陽平 東京都立大学大学院 都市環境科学研究科観光科学  
域 准教授  
共同研究者 吉田 伊武貴 東京都立大学大学院 都市環境科学研究科観光科学  
域 博士前期課程一年生



### Can we find regional administrative issues from a huge amount of geo-tagged tweets?

Representative Yohei Kurata, Department of Tourism Science, Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan University, Associate Professor

Collaborator Ibuki Yoshida, Department of Tourism Science, Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan University, Graduate Student

### 研究概要

申請者は全国各地の訪問上の危険性を解明するために膨大な位置情報付きツイートから旅行者の発信した旅先での「失敗談」を自動抽出する失敗談抽出器を開発・応用した経験（倉田・吉田 2021）があり、この経験をふまえ、今回は「不満談」の抽出器を開発し、本研究では「わざわざ位置情報を付けてつぶやかれている不満談ツイートは行政の対応すべき地域課題を指摘しているツイートである」という仮説のもと、コンピュータに膨大な不満談文例を機械学習させ、不満談を見分けられるように育成し、申請者が収集してきた全国二千万件の膨大な位置情報付きツイートに対し適用し、街中でわざわざ位置情報を付けて不満が述べられているツイートを大量に抽出し、それらの位置情報付き不満談ツイートがまちづくりや行政施策に応用できないかを検証するのが本研究の趣旨である。